



entetsu

遠州鉄道 最近10年史

創立60周年記念誌

1994



2003

遠州鐵道
最近10年史

1994—2003

ごあいさつ

当社は、太平洋戦争下の昭和18年11月1日、時の監督官庁の推奨により、静岡県西部地方の交通会社6社が統合して誕生いたしました。創立以来、遠州地域の交通の担い手となる鉄道事業・バス事業を中心に、地域に密着した事業展開を行い、地域社会の発展や生活文化の向上に貢献をしております。また、長年に亘り多くの先人の努力により培われてきた信頼や、安全で高品質の商品やサービスをリーズナブルに提供するという「お客様第一主義」の実践を柱に、時代の変化に適応した諸施策や経営の多角化を進め、今日では、グループ20社を数える遠州地方の有力な企業グループに成長いたしました。

この度、創立60周年を迎えることができましたのは、お客様をはじめ、株主様、並びに関係各位のご支援や従業員の協力の賜物であり、ここに厚く御礼申し上げます。

この節目の年を記念して発刊するのはこびとなりました「遠州鉄道最近10年史」は、先に刊行した「遠州鉄道50年史」に続く、平成6年以降の10年を主眼に上梓いたしました。顧みますと、バブル経済崩壊以降の日本経済の低迷や、規制緩和による競争激化、さらには情報化社会の急速な進展による顧客ニーズの多様化など、激変する経営環境の中で、遠鉄グループ連結業績の向上を目指し、時代の変化に対応した事業の再構築に挑み続けた10年間でありました。

また、経済のグローバル化に伴い、企業単体から連結グループ経営への社会的な意識が高まる中、本誌といたしましても、運輸事業のみならず、流通業や不動産業、観光レジャー業などを中心とした遠鉄グループとしての歩みを、業種毎に綴ることといたしました。本誌が、当社並びに遠鉄グループをご理解いただく一助となり、さらなる飛躍への足がかりとなれば幸いに存じます。

今後も「地域とともに歩む総合生活産業」としての経営理念に則り、グループの総力を結集した強固な経営体質づくりに努めるとともに、地域社会への貢献にも積極的に取り組んでまいり所存でございます。

何卒、ご高覧を賜り一層のご指導、ご鞭撻の程お願い申し上げます。刊行のごあいさつとさせていただきます。

平成15年11月



取締役社長 鈴木 敬彦





目次

ごあいさつ	2
口絵	4
遠州鉄道創立までの会社沿革図	8
創立より50年のあゆみ	9
■遠州鉄道株式会社の創立 昭和18年(1943)～25年(1950)	10
苦難の時代からの出発／奥山線の電化とディーゼル化	
終戦前後のバス事業	
■運輸交通事業の充実 昭和25年(1950)～35年(1960)	12
社内業務、鉄道施設の改善／バス基盤の充実／貸切バス事業の再開	
関連会社の誕生	
■躍進の事業展開 昭和35年(1960)～39年(1964)	14
初の5カ年計画を策定／鉄道基盤強化と奥山線の廃止	
急行バスで長距離輸送時代に対応／貸切営業所の増設と観光部の設置	
事業多角化の推進	
■高度成長期における連帯経営 昭和39年(1964)～48年(1973)	16
担当常務制から事業本部制へ／20年ぶりにダイヤを大幅改正	
路線バスのワンマン化など合理化推進	
初の名古屋進出とバンビツアーの誕生	
自動車販売進出やレジャー基地開発も	
■多角化へ活発な事業展開 昭和48年(1973)～61年(1986)	18
全社一丸でオイルショックを克服／鉄道の高架化が実現	
路線バス運行の合理化施策／バンビツアーの躍進	
流通、都市ホテルなど多角化の推進	
■総合生活産業を目指して 昭和61年(1986)～平成5年(1993)	20
「チャレンジ90」を策定／フォルテ建設と遠鉄百貨店の開業	
増収対策とETカード発行／バスロケーションシステムの導入	
多彩な旅行商品を発売／不動産、ホテル、自動車販売事業も加速	
創立50周年記念事業を盛大に実施	
最近10年史	22
■経営	24
「ブライト21」から「アクティブ21」へ／利益体質への変革	
プロになる! 新たに「プロ21」を推進	
■運輸事業 鉄道部門 乗合バス部門 貸切バス部門 整備部門 広告部門	32
豊かなまちづくりに向けて～高架化事業と設備投資～	
ETカードからICカードへ／多彩なイベントを開催	
オムニバスタウン構想の推進／街の活性化の一翼を担って	
ニュー浜松観光バス(株)の設立／ワールドカップなど巨大イベントで活躍	
遠鉄自動車整備センターが誕生／広告代理店事業へ本格参入	
■旅行業 旅行部門	48
「野歩探検隊」など新企画が好評のバンビツアー	
遠鉄トラベル～時代に対応した組織変革と商品開発を推進	

■不動産事業 不動産・住宅部門	51
拡大著しい不動産事業／積極的な営業展開を行う仲介事業 「ブライテージ」ブランドの確立と大規模分譲住宅の取り組み 分譲マンションの販売を拡大／新たに注文住宅事業に進出 賃貸事業と一般建築事業	
■保険事業 保険部門	59
合言葉は「限りなき挑戦」活発な営業活動、サービス体制で年間保険料100億円を達成！ 競争力強化を目指し遠鉄保険サービスが遠州鉄道(保険グループ)と合併	
■観光事業 遊園地・旅館部門 ホテル部門 レストラン部門	62
多彩なりリニューアルを進める浜名湖パルパル 浜名湖オルゴールミュージアムのオープン ホテル九重の高品質サービス施設 ホテルエンパイアに「ダイダラボッチの湯」が誕生 ホテルコンコルド浜松の独立／(株)遠鉄山の家の設立	
■タクシー業 タクシー部門	70
先進の配車システム、福祉車両を導入／タクシグループの再編を推進 創立50周年と「サービスNo.1宣言」	
■自動車販売業 新車・中古車販売部門 カーリース・レンタカー部門	74
オートからネットへ社名を変更／携帯電話販売がネット店で全国1位に 地元密着営業で順調に事業拡大	
■流通業 百貨店部門 スーパーマーケット部門	78
売上げ県下1番店を達成！／より魅力ある都会型百貨店の実現を目指して 遠鉄百貨店友の会の拡大／新システム導入で効率化を推進 時代変化に対応した新業態へ／地域に根づいた文化「遠鉄ストア童話大賞」 環境問題と省資源運動 おいしくて新鮮で安全な値ごろ感のある商品を提供する 顧客還元を目指す創立30周年記念事業	
■自動車学校業 スポーツクラブ業 石油販売業 情報サービス業 建設業 車両管理請負業 人材派遣業 ビル管理業	
自動車学校・スポーツクラブ部門 石油販売部門 情報サービス部門 建設部門 車両管理請負・人材派遣・ビル管理部門	90
入校生獲得の施策を意欲的に展開 事業多角化を図りスポーツクラブ・エスポをオープン Eシール、E洗車など新サービスが好評 IT分野の先端ビジネスで好調を継続／ISO9001、14001を同時に認証取得 総合建設業を目指し新社名でスタート！ 運転からビル管理までマンパワーで貢献	
資料編	97
■年表	138
あとがき	167

■凡例

1. 本史の記述は当社が創立60周年を迎える平成15年の3月までを原則とし、事柄に応じて、それ以降についても記述した。
2. 用字用語については、原則として常用漢字および現代仮名づかいを使用した。固有名詞や慣用語などはこれに準拠しないところもある。
3. 人名については、歴史的記述の通例に従い、原則として敬称を省略した。
4. 引用文は、読みやすさを考慮して、旧漢字を常用漢字に置き換えた。

遠州鉄道創立までの会社沿革図

明40 41 大元 4 7 8 9 10 11 12 13 14 昭元 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23

